

駒小

どうとくだよい

すてきな思いやりの心

学校生活の中で、友達やほかの学年の子どもたちの「思いやり」に気づいた駒小の子どもたちのすてきな心をご紹介します。（敬称略）



2年生の心晴ちゃんが校庭で転んだ時、結ちゃんが「大丈夫?」「水で洗おう。」と、話しかけていてすごいな、やさしいなと思いました。わたしも誰かが転んでしまった時は、やさしく話しかけたいなと思いました。

6年 児童

1年生の豪くんが転んだ時に、2年生の凜也さんが保健室につれて行ってあげていました。弦聖さんは、なぐさめてあげていました。

6年 児童

ぼくが授業が終わってもまだ、勉強が終わってなくて忙しい時に、由衣さんが黒板を消してくれました。協力って大事なんだという気持ちになりました。ぼくも友達が何か作業をやっている大変そうな時には、手伝ってあげたいです。

5年 児童

誰かが牛乳をこぼしたのを、6年の叶愛さんがふいてあげていました。わたしはすごいなと思いました。そして、わたしもいっしょにふこうと思ったけれど、叶愛さんの行動が素早くて間に合いませんでした。わたしも今度は誰かが困っているときにはやさしく声をかけて手伝いたいです。

5年 児童

帰りの用意をしていた時に、七夏さんが樹さんの水とうを持って行ってあげていたのいいなと思いました。わたしも時間があったらまだ準備している人の荷物を持って行ってあげたいです。

4年 児童

休み時間や昼休み時間に想大くんがぼくを遊びにさそってくれました。そのほかにも、も手伝ってくれたり話しかけてくれたりします。学校から帰ってきてからも時間があるといつも誘ってくれるので、楽しくすごせます。

4年 児童

みんなでどうとく

道徳の教材について親子で考え、話し合っていました。ご協力ありがとうございました。心の教育ともいわれる「道徳」について、深い学びをしていただいたいくつかの例を紹介します。

わたしはこれから自分が嫌だなと感じた時には、嫌だという気持ちのふたを開けて、自分の思いを相手に伝えたいです。他の人がいじめられていたら、自分ができる方法で助けてあげたいです。

5年 児童

周りの人に合わせる事も必要な事ですが、自分の気持ちを大切にしてほしいと思います。周りと違う事をするのは勇気があることですが、後悔しないように自分の気持ちを伝えられるようになってほしいと思います。父より

このお話を読んで了海は命をかける仕事のために寄付をしたけれど、誰も取り合わなかったにも関わらず、一人でやろうと決心してあきらめなくて、21年間ずっと掘り続けていてすごいなと思いました。了海みたいなあきらめない心は何をやるにも大事な物だと思いました。

6年 児童

大きな事をやり遂げるにはあきらめない心はとても大事だと思います。なぜ、了海はあきらめずにできたか？かたきを取りに来た実之助の気持ちを変えてしまうほどの簡単なことではないです。様々な教材を読み、考えることで、どんどん心を成長させてください。父より

坂本さんがみんなに話してくれて、ダンを飼うことができたのでよかったと思いました。みんなが交たいでお世話をするのが優しいと思いました。

3年 児童

このお話を読んで生き物を飼うことの大変さが分かったと思います。家にいるペットたちについても、しっかりお世話をして命の大切さに気づける子になってほしいです。親に言われてするのはなく、自分で気づいて自分からお世話をできるようになってください。母より

誰かから親切にされるとうれしい気持ちになるし、誰かに親切にしたら、自分も優しい気持ちになると思う。知らない人にはできないけれど、友達が困っていたら親切にしたい。

4年 児童

今のその気持ちを忘れずに、周りに目を向けていこう。その優しさや親切が広がって、友達ともっといい関係になると思うよ。子どもに限らず、私たち大人も相手のことを考え、思いやりの気持ちを持ち、言葉にしたり、行動に移したりしたいと思います。父・母より

けんたはお母さんにおこってしまった。でも、お母さんにやさしくしてもらったことを思い出してお手伝いしたいと思いました。

2年 児童

いつも話し方について一緒に考えることが多いけれど、新の感想を読んで「人の気持ちを考えること」ができるようになったんだなあと思ってうれしくなりました。新のやさしい気持ちを大切に！周りの人にもきっと優しい気持ちはつながっていくと思います。

母より

えみさんがつくるおかしはぜんぶおいしそうでした。えみさんはみんなを幸せにしてあげたいんだと思います。わたしもいろいろなことに挑戦してみたいです。

1年 児童

娘にとって初めての「みんなでどうとく」。話を何度か読み返しながら「えみさん」の気持ちを想像しようとする姿がありました。いろいろなことに挑戦したい！という気持ちが芽生えた時に私たちも励ましながら諦めない心を育ててあげたいです。

母より